
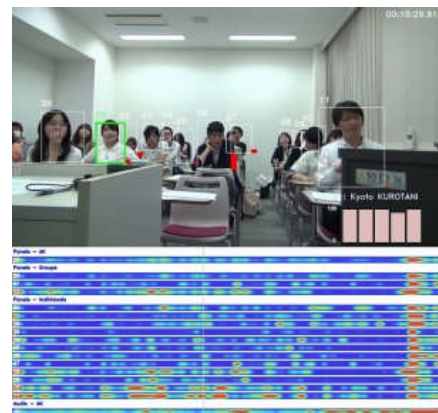
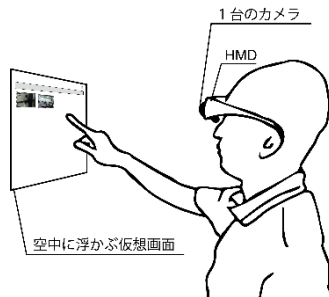




氏名・職名	豊浦 正広 助教	
キーワード	拡張現実感、映像処理、 コンピュータグラフィックス	
ホームページ	http://www.vc.media.yamanashi.ac.jp/	
研究者から一言	<p>拡張現実感(AR)は、カメラで撮影する実世界映像の中に、CGで作った仮想物体を登場させる技術です。ヘッドマウントディスプレイ(HMD)はこれまで高価でしたが、安価なコンシューマデバイスが発売され始め、エンターテインメント以外への応用も広がっています。</p> <p>映像処理では、固定カメラ映像の効率的な鑑賞を目指しています。街中のどこにでも監視カメラがありますが、そのすべてを見て確かめることはできません。映像中の注目すべき領域を設定したり、時間的な差分を解析することによって、映像のどの時間帯を見るべきかを可視化します。</p>	

拡張現実感・映像処理の研究例



1台のカメラでのクリック動作検出

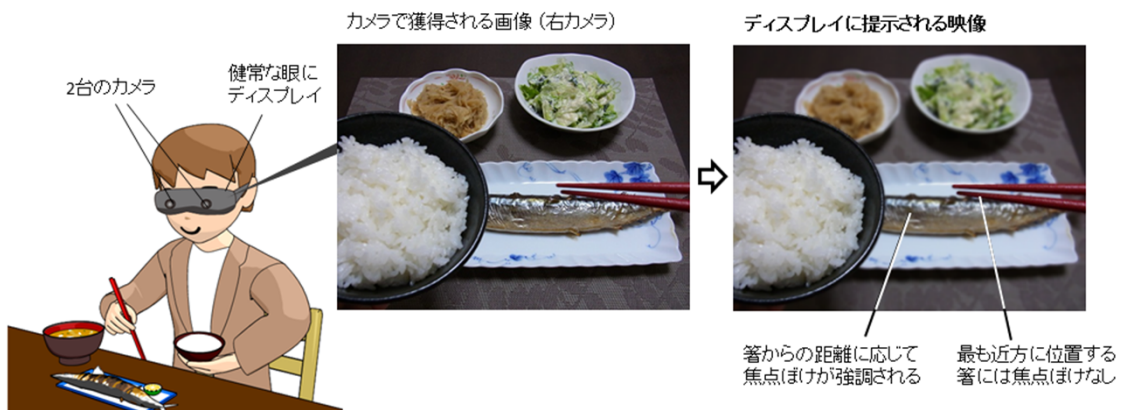
(特願2013-179269)

映像中の個別対象の活動度可視化

(特願2013-173053)

片眼失明・弱視患者に立体感を与える片眼鏡

(特願2011-185700)



拡張現実感・映像処理のご相談をお待ちします

新規開拓分野への拡張現実感

ロボット誘導・制御のためにARマーカを使いたい、
医療分野での拡張現実感の応用を検討している など
(ほか、下記の“適用できる製品・分野のイメージ”をご参照ください)

過酷な環境下での拡張現実感利用

カメラ移動：映像のぼけ・ぶれ、低フレームレート、映像の無線伝送 など
光源環境：明るい屋外、暗い夜間の利用、ディスプレイモニタでの表示 など
ハードウェアの制限：携帯端末、低解像度カメラや赤外線カメラ など

映像解析に関する技術相談

既存の利用方法とこれからの技術発展の可能性
映像内活動度可視化の利用上の制約や得意・不得意な分野
大量の映像を解析するために必要な技術、映像分野の未解決問題 など

… その他、何でもお気軽にご相談ください

適用できる製品・分野のイメージ

観光	防災・災害救助	広告・出版・印刷
医療	情報可視化	ゲーム・携帯コンテンツ
住宅見学	育児・保育	設計・デザイン
仮想博物館	技術指導	コンピュータアート
教育	運転支援	ロボット誘導・制御
工場見学	農業・園芸	プレゼンテーション
立体映像提示	蔵書管理	ウェブコンテンツ
美容・服飾	商品販売	生産ライン制御
イベント誘導	スポーツ観戦	など

山梨大学 社会連携・研究支援機構

Email: renkei-as@yamanashi.ac.jp

Tel: 055-220-8759 Fax: 055-220-8757

